富山県感染症発生動向速報

(2025年第34週分・8月18日～8月24日)

■今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症の報告数が増えています。

県内の患者報告数は、今週 8.09 人/定点と大きく増加しました。基幹定点医療機関からの入院患者報告数も大きく増加しました。学校再開の時期でもあり注意が必要です。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう ([COVID-19 の疫学所見参照](#))。

○感染性胃腸炎の報告数が多い状況です。

小児科定点での報告数は、例年に比べ多い状況が続いています。感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、細菌やウイルスなどの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のために、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 34 週・8/18～8/24)

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳未満、女性、O103、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 3件 (①50歳代、女性 ②60歳代、男性 ③70歳代、男性 ①～③全て肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①70歳代、男性 ②90歳代、女性 ①②共にG群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、女性)
- 百日咳 28件 (①第24週診断分：10歳代、男性 ②第26週診断分：10歳代、女性
 ③第28週診断分：40歳代、男性 ④第29週診断分：10歳未満、男性
 ⑤第29週診断分：10歳代、男性 ⑥第30週診断分：10歳未満、男性
 ⑦～⑨全て10歳未満、男性 ⑩～⑰全て10歳未満、女性
 ⑱～⑳全て10歳代、男性 ㉑㉒共に10歳代、女性 ㉓60歳代、男性)

加熱が不十分な肉の喫食を避けること！ 腸管出血性大腸菌感染症

《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症は、ベロ毒素（VT）を産生、またはVT遺伝子を保有するEHECを原因とする感染症です。全国では無症状病原体保有者を含むEHEC感染例が毎年3,000～3,900例報告されており、夏季に流行のピークがみられます（上図）。富山県では、2025年は8月24日現在、9例のEHEC感染例が報告されています（下図）。また、7月以降、血清群O103のEHEC感染症の報告が多くなっています。

EHECは牛などの反芻（はんすう）動物に保菌されていることが多く、これらの動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。汚染された食品を加熱不十分な状態や生のまま喫食すると、3～5日経過後に腹痛、水様性の下痢や血便、さらに一部の患者では嘔吐や発熱などの症状を呈します。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症など重篤な合併症を併発し、死亡する症例もあります。小児や妊婦、高齢者については重症化しやすいため、特に注意が必要です。

感染予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。海外旅行中にユッケや生レバーなどの生肉を喫食することで発症した患者が複数報告されています。海外では特に、加熱されていない食品や生水の摂取は避けましょう。下記のことには留意して感染予防に努めましょう。

感染予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。海外旅行中にユッケや生レバーなどの生肉を喫食することで発症した患者が複数報告されています。海外では特に、加熱されていない食品や生水の摂取は避けましょう。下記のことには留意して感染予防に努めましょう。

- ① 調理の際、食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱（中心部の温度が75℃で1分以上）してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

○感染症発生動向調査報告状況（2025年第34週 2025年8月18日～2025年8月24日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核							6	2	12	13	34	67	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	8	7	20	41	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1	2	1	3	2	1	9	
四類感染症	E型肝炎									3			3	
	A型肝炎								1	1			2	
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1	
	デング熱									1			1	
	レジオネラ症			1	1	1	3		1	3	2	10	16	
五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9	
	急性脳炎									1	1		2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2	1		3		6	10	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1	
	ジアルジア症										1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	3	16	32	
	水痘（入院例）							1		1			2	
	梅毒							2	1	3		22	29	
	百日咳		2	7	7	6	22	29	131	137	36	256	589	
	風しん										1		1	
	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	301	252	759	253	1,004	2,569	5,867	5,152	19,838	4,563	24,273	59,693
			43.00	50.40	58.38	36.14	66.93	54.66						
インフルエンザ			1	1	1	1	4	936	859	1,651	980	1,882	6,308	
			0.20	0.08	0.14	0.07	0.09							
小児科定点（28定点）	COVID-19	87	43	94	64	92	380	1,138	448	1,195	860	1,089	4,730	
		12.43	8.60	7.23	9.14	6.13	8.09							
	RSウイルス感染症	2	1	6		5	14	37	29	128	42	229	465	
		0.50	0.33	0.75		0.56	0.50							
	咽頭結膜熱	1		9		2	12	65	32	278	4	98	477	
		0.25		1.13		0.22	0.43							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2	15	5	20	45	133	226	1,379	181	1,930	3,849	
		0.75	0.67	1.88	1.25	2.22	1.61							
	感染性胃腸炎	22	12	7	6	99	146	923	585	1,414	489	4,053	7,464	
		5.50	4.00	0.88	1.50	11.00	5.21							
	水痘	1	1	2		6	9	9	76	40	17	277	419	
			0.33	0.25		0.67	0.32							
	手足口病			1	1	3	5	3	8	43	9	48	111	
				0.13	0.25	0.33	0.18							
伝染性紅斑	3	10	27	4	49	93	93	286	699	112	1,103	2,293		
	0.75	3.33	3.38	1.00	5.44	3.32								
突発性発しん		3	3	2	4	12	5	20	102	25	116	268		
		1.00	0.38	0.50	0.44	0.43								
ヘルパンギーナ	1	4	29	2	10	46	21	30	105	15	103	274		
	0.25	1.33	3.63	0.50	1.11	1.64								
流行性耳下腺炎		1			2	3	2	10	7	8	20	47		
		0.33			0.22	0.11								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99	
	流行性角結膜炎		6	1			7	5	18	25	2	2	52	
		6.00	0.50			1.00								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1	
	無菌性髄膜炎										1		1	
	マイコプラズマ肺炎	1	1	1			3	21	9	29	23	8	90	
		1.00	1.00	1.00			0.60							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242	
	COVID-19による入院患者	4	8	6	7	23	48	105	98	70	132	246	651	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。